

効果概要: 令和4年台風第14号・15号において、消防団設備整備費補助金を活用して配備した資機材を活用
 府省庁名: 総務省消防庁

■ 実施主体: 鹿児島県さつま町 等

■ 概要:

鹿児島県さつま町では、倒木等の被害があったため、消防団設備整備費補助金を活用して配備を行ったチェーンソー及び切創防止用保護衣を用いて撤去作業を実施。

その他、同補助金で配備したトランシーバーを用いた巡回活動(福岡県うきは市)や、救命胴衣を用いた排水活動(静岡県浜松市)が実施されるなど、各地で消防団の災害対応能力の向上に寄与した。

■ 事業費: 令和4年度 約7.5億円
 (うち5か年加速化対策約2.5億円)

■ 補助対象事業者:
 都道府県(消防学校で使用するものに限る。)
 市町村(一部事務組合及び広域連合を含む。)

■ 補助金の趣旨・発揮される効果:
 災害時における消防団のより効果的な救助活動を図るため、消防団への救助用資機材等の整備を促進することを目的。近年の災害頻発、3か年緊急対策の実績を踏まえ、5か年加速化対策においても、大規模災害に対応できるよう支援。



整備した
チェーンソー、
切創防止用保護衣

鹿児島県さつま町提供

補助対象資機材等(例)

